

# 第1回 湖西市バス運行評価改善委員会 会議録

日 時：平成29年10月18日（水）13時30分～15時30分

場 所：市民活動センター2階大会議室

出席者：

会 長	伊豆原 浩二	愛知工業大学 客員教授
副会長	疋田 隆	湖西市自治会連合会
委 員	竹内 誠一	湖西市老人クラブ連合会
委 員	柴田 和利	湖西市商工会 事務局長
委 員	吉原 博明	湖西市社会福祉協議会事務局次長代理
委 員	河邊 登	公募市民
委 員	藤井 早苗	公募市民
オブザーバー	大倉 篤	静岡県地域交通課長
事務局	小林 廉	遠州鉄道(株)運輸業務部 副課長
事務局	小笠原 弘樹	遠州タクシー(株) 営業部長
事務局	辻村 嗣直	浜松バス(株)支配人
事務局	疋田 行彦	湖西市 企画部 市民協働課長
事務局	佐原 敬	湖西市 企画部 市民協働課 課長代理
事務局	村松 慶太	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係

## 1 開 会

## 2 委員長挨拶

### 3 (1)評価・改善について

① 今年度の湖西市バス運行評価改善委員会の進め方について

② コーちゃんバス、自主運行バス浜名線の運行概要について

<事務局>

参考資料・資料1-1にて説明

質問等なし

③ 昨年度の評価及び改善提案、平成29年度の施策実施状況

<事務局>

資料1-2にて説明

<委員>

今まで、大きな事故などはあったのか。また、日ノ岡の乗り継ぎについては以前からの提案であったと思うが、調整が難しかったのか。

<事務局>

近年、大きな事故は起きておりません。日ノ岡については、今年度調整が整い、10

月からバス停やルートの変更を実施しました。

<委員>

岡崎循環線については、利用者が増えない理由はなんだろうか。昨年の会議でも、“小学校の運動会等のときにコーちゃんバスを走らせてみては”という提案があったと思うが、その点については動きがあったのか。ふれあい広場では臨時便が運行していたと思う。

<事務局>

岡崎循環の沿線のイベント時の臨時運行については、通常の乗合運行と違い、貸切運行となるため実施は難しいと考えています。

ふれあい広場での運行は、社会福祉協議会がイベントのために用意、実施をしております。

<委員長>

小学生の乗り方教室を岡崎小学校でも実施しているので、利用促進の機会に小学校の意向把握や働きかけをするとよいと思います。

<委員>

様々なイベントでまず乗ってもらうことで、利用者増につながるのではないか。二川の方へ路線を伸ばすことでも同様に新所原地区の住民利用が見込めるのではないか。岡崎循環としては、上りや下りがあれば利用しやすいと思う。

<事務局>

二川方面への路線については、形成計画に記載しており、現在検討中です。スケジュールに沿って検討していきたいと思います。

<委員>

地域リーダーの検討について、デマンドの実証実験の要望を出していると思うが、いつから実施するのか。また、事前登録制となることだが、3人で相乗りすると割引料金となったりするのか。

もう一つ、西長谷へのコーちゃんバスの乗り入れについて、現在はおいでん村での折り返しとなっているが、自治会などから要望を出していると思うが、対応はどのようになっているのか。

<事務局>

デマンド型交通については、平成30年3月から実施予定です。料金は白須賀から鷲津への移動について700円を基本に考えています。相乗りでの割引料金は現在は予定していません。

西長谷集会場へのバス路線の延伸については、デマンド型交通の実証実験を実施することから、総合的な路線の検討の中で調整させて頂きたいと考えています。自治会の要望については書面での提出の有無を再確認いたします。

<委員>

乗り継ぎ案内チラシについて、実際バスに乗車してみたが、文字を読んでもなかなか理解しづらい部分がある。運転手がある場で対応するようなサービス、情報発信に力を入れてはどうか。

また、敬老1乗車100円キャンペーンについても、バス1車での広報しかなかったので、情報発信の方法を見直すようにしてください。

例えば、乗り継ぎポイントで5分程度停車する余裕をもたせて、運転手がアナウンスしやすい状況を作ってみてはどうでしょうか。

<事務局>

情報発信の強化についてはご指摘のとおりです。運転手をはじめ、わかりやすい情報発信に努めます。

<委員>

乗り継ぎ箇所は8か所であるので、乗り継ぎ箇所での案内人サービスなどを企画してみてもどうか。また、商店と協力して待ち時間によってもらえるような体制をつくってはどうか。

<委員長>

安城市ではバス案内人などの企画をして情報発信しています。乗り継ぎをしやすくするかというのは、大変重要ですが、道路状況もあるので、5分停車については難しいと思います。情報をわかりやすく伝える努力をお願いします。商店との協力は形成計画にも記載されているので、その中で検討をお願いします。

#### ④ 主要指標の動向

#### ⑤ コーちゃんバス、自主運行バス浜名線の利用状況

<事務局>

資料1-3、資料1-4にて説明。

<委員>

利用者が2人に満たない便については改善対象ということですが、やめる場合は他の提案をするなど、対応策をお願いします。

<委員長>

データとしてはこれでよいかと思うが、運転手が一番現状知っていると思います。どのような方が利用しているのか、固定客のような感じがしますし、データだけを見て判断するのは危険なので、バス事業者と協力して利用の伸びない理由を把握するようにして下さい。

<委員>

白須賀新居鷺津線では、小学生は朝、通学に利用しているようですが、帰りはありません。片道定期券などの企画をしてはいかがでしょうか。

<委員>

コミュニティバスで約 10 万人ということですが、全体的に何人くらいの利用があれば良いのですか。

<委員長>

目標については色々あるが、収支率でいうと自主運行バスは 6 割程度、コミュニティバスでいえば 2 割程度が中部運輸局管内では平均だと記憶しています。

湖西市では収支率は 10~12%程度で低いので、どれだけ税金を投入するかという話になるので、本数などをいたずらに増やすわけにはいかないですね。

<委員>

行政が公共交通にいくらまで出せるのか示す必要もあると思います。

<委員長>

おっしゃるとおり、どれだけ投資していくかという話になる。今の本数で現在の負担額であり、本数を倍にすれば、利用者が 2 倍以上になるよう効果を考えていかなければならない。このことから評価が重要になってきます。

<委員>

市民の意見として、もっと投資しても本数を増やすのか、減らすのかそういう方針が必要ではないか。

<委員長>

そのような指標については形成計画の中で調査しています。その中で指標を使って示した負担以下にしたいという一つの基準ができています。

<委員>

せっかく知恵を出し合うので、自主運行がなくなり、コーちゃんがやめてしまうということになると、バスがなくなってしまう。デマンドを実施するということだが、料金が 700 円ということで、私たちが 100 円を望んでも行政がダメなら現実的ではないし、難しいところである。

“コーちゃんバスの路線をなくしてもらっては困る” というのは言い切れません。便を増やすではなく、無くすという点については疑問が残ります。

<委員長>

今の話も含めて、形成計画の評価をしていきたいと思います。

## (2) コーちゃんバスの一時的評価について

<事務局>

資料 2 について説明(形成計画の評価について強調)

<委員>

スケジュールの浜名線については市役所～浜松市の遠鉄バスでよろしいですか。また、遠鉄バスとしては、5年間については現在の水準を維持する、継続するということがよろしいですか。

<事務局>

計画では維持を考えています。

<委員長>

量が多いのでお手数ですが、資料2については事務局の自己評価でございます。委員の皆様は忌憚のない意見を記入して、10月末までに事務局に提出をお願いします。質問が無ければこれで委員会を閉会させていただきます。

<事務局>

次回の評価改善委員会は11月14日の13時半からを予定しておりますので、よろしくをお願いします。

以 上